

表 シカゴ連銀経済報告（2020年10月21日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は堅調に（robustly）回復。賃金はわずかに（slightly）上昇	雇用は減速したものの、全体的に堅調に回復した。雇用者数についてはほとんど変化がないとの報告が多くみられた。多くの小売業は営業時間を減らしており、それに伴い従業員の数減らしている。高い失業率にもかかわらず、非熟練労働者の獲得は新型コロナウイルスのまん延以前に比べて、わずかに容易になったにすぎないとの報告がみられた。小さな子供のいる労働者には勤務スケジュールへの配慮が継続されている。賃金はわずかに上昇した。
物価	控えめに（modestly）上昇	物価は今後12カ月、これまでと同様に控えめに上昇することが予想されている。消費者物価は、食品や自動車価格の上昇に牽引され、控えめに上昇した。生産者物価はわずかに上昇した。仕入れ価格は、原材料や輸送費の上昇に牽引され、控えめに上昇した。天然ガス、原油の在庫が積み上がり、需要が減少しているため、エネルギー価格は低いまま。
個人消費	堅調に（robustly）増加	個人消費は堅調に増加しているが、新型コロナウイルスまん延以前の水準を大きく下回っている。非自動車販売は控えめに増加し、家財道具などの消費が好調だった。また、趣味やスポーツ用品においても強い消費を維持している。さらに、自動車販売も好調だ。自動車ディーラーは、軽トラックやさまざまなタイプの中古車の在庫がタイトであり、価格の上昇と利幅を支えていると報告している。娯楽産業は新型コロナウイルスまん延以前の状態には戻っていないものの、大幅な消費の増加がみられる。しかしながら、祝日（レーバーデー）の飛行機やホテルの予約は1年前に比べて非常に少なく、ビジネス需要も低調だ。ミシガン州の調査では、多くのレストラン経営者は、売り上げが新型コロナウイルスまん延以前の水準に戻るには少なくとも6カ月かかるとしている。
企業支出	わずかに（slightly）増加	小売業は需要のある家財道具などの在庫を維持するのに腐心している。冷蔵庫などの電化製品の不足が集合住宅の建設プロジェクトを妨げたとの報告があった。サプライチェーンに部分的に課題を抱えているものの、ほとんど製造業者は在庫は適当な水準にあるとしている。設備投資にはほとんど変化はなく、投資計画の多くが中断されている。輸送サービスの需要は控えめに上昇している。輸送可能なキャパシティの制限を受けて大幅な価格上昇がみられるとの報告もあった。商業用エネルギーの消費はわずかに減少し、産業用エネルギーの消費はわずかに上昇した。
建設と不動産	控えめに（modestly）増加	住居用不動産の活動は控えめに増加している。用地や材料の不足、木材などの価格上昇により支障が生じているとの報告が聞かれた。住居用不動産は特に核家族向けが活発だ。住居価格は上昇し、在庫は減少している。商業用不動産については全体として変化はみられず、コストの上昇に直面している。商業用の不動産の活動は、取引が産業用や集合住宅に限定され、全体的にわずかに減少した。倉庫や流通向け用地の需要は特に大きかった。オフィスや小売店舗の賃料の下落が報告された。
製造業	控えめに（modestly）増加	製造業の生産は控えめに増加しているが、新型コロナウイルスのまん延以前の水準を下回っている。自動車製造は、ほぼ新型コロナウイルスまん延以前の水準に回復した。鉄鋼生産も回復しているものの、水準としては低いまま。重工業の需要も年初に比べて高いものの、依然として弱い状況にある。また、インフラ部門の需要は底堅いが、政府支出が減少することを懸念する声が聞かれた。特殊金属の販売は控えめに上昇し、建設、医療、防衛産業の需要が強かったと報告されている。大型トラックの需要は控えめに上昇した。食品加工業は力強く増加し、設備拡張を計画しているとの声も聞かれた。
金融	ほとんど変化なし	株式および債券市場参加者においては、ボラティリティー（変動性）の上昇が続いているものの、全体として状況にほとんど変化はなかったと報告されている。ビジネスローンの需要は控えめに減少しており、特に娯楽産業や商業用不動産の分野の減少が報告されている。娯楽産業、商業用不動産において、ビジネスローンの質が控えめに悪化している。ビジネスローンの基準は再び、一定程度引き締められている。消費者ローンの需要はローンの借り換えに牽引され、控えめに増加した。企業、家計ともに預金の水準が高いとの報告が引き続きみられた。
農業	主要な農作物の価格上昇や追加的な政府の支援によって、収入増加の期待が高まっている	在庫減少（昨年比）を受けて、トウモロコシ、大豆、小麦の価格が上昇した。トウモロコシと大豆の中国への輸出増加も価格の上昇を支えている。加えて、8月の干ばつが予想収穫量を押し下げた。販売・輸出の増加に伴い、乳製品の価格は上昇した。牛の価格は下落し、豚の価格は上昇した。政府支援が大幅に減少することが予想される翌年の心配は依然としてあるものの、収入の増加見込みは、農業資金の借り手にとって安心材料になっているとの報告がみられた。

（出所）シカゴ連銀経済報告を基にジェットロ作成